

「家庭ごみ」についてのアンケート

<調査概要>

調査方法： インサーチモニターを対象としたインターネット調査
分析対象者： 札幌市内在住の15歳以上男女
調査実施期間： 2009年8月6日(木)～8月9日(日)
有効回答者数： N=436

全体	436名	100%
男性	205名	47%
女性	231名	53%

※一部の結果について、2009年5月実施の「家庭ごみ」アンケート結果と比較

実施機関： 株式会社インサイト

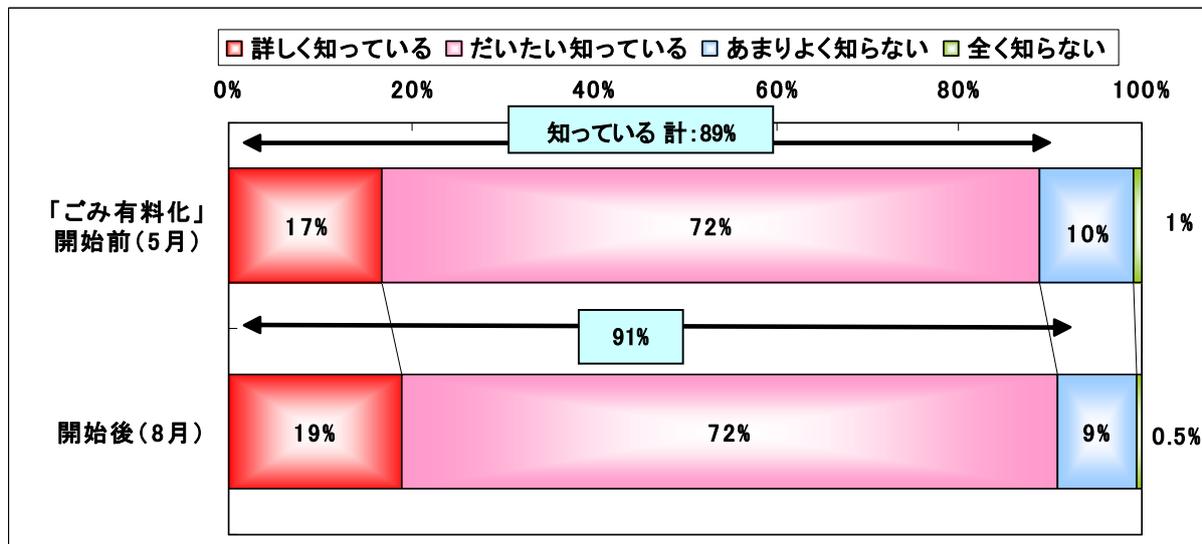
<結果の要約>

- 「ごみ収集曜日/頻度」を”詳しく”知っている割合は、家庭ごみ有料化開始前(5月)58%に対し、開始後は29%にとどまる。
- ごみを減らす努力をしている割合は、有料化開始前72%に対し、開始後は86%に上昇している。
- 全体の9割近く(88%)が「家庭ごみ有料化開始後」の意識・行動変化があり、具体的には、「ごみの分別に注意するようになった」が6割強(65%)と最も多く、次いで、「ごみを減らす努力をするようになった」が約半数(49%)、「各ごみの収集日に注意するようになった」が4割弱(38%)となっている。
- 全体の55%が、「家庭ごみ有料化」による家計への負担を感じている。
- 自分でごみを出しに行く人の3割が、利用しているゴミステーションの利用状況に問題を感じており、具体的には、「他地域住民の不法投棄がある」、「所定の日時以外に出す人がいる」、「カラス被害」といった意見が目立つ。

【「ごみ処理方法」についての理解(「家庭ごみ有料化」開始前後比較)】

<分別品目/分別方法>

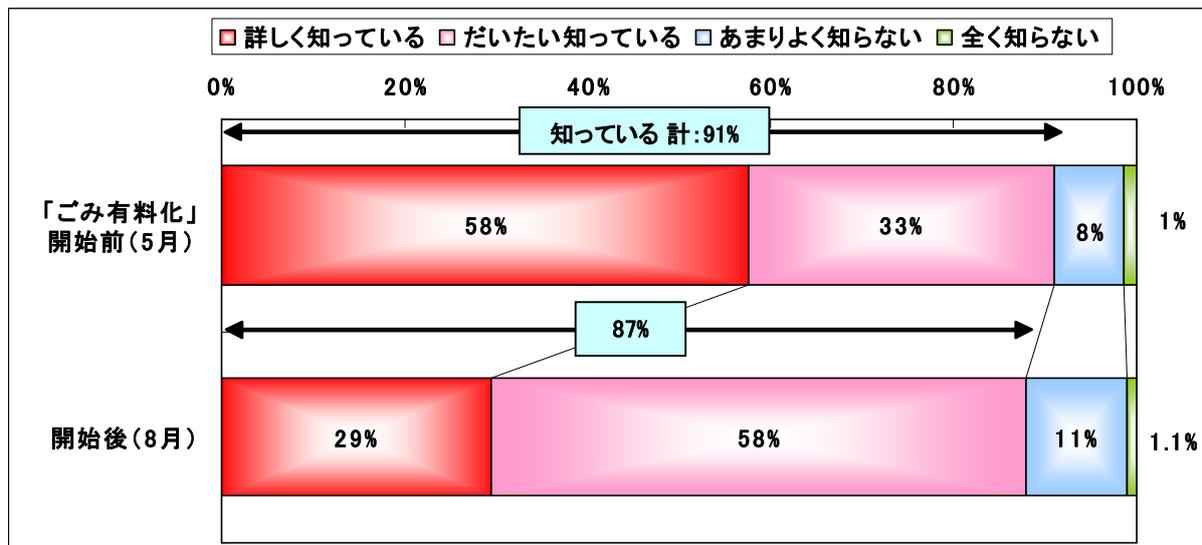
Q:あなたは、札幌市における現在の「家庭ごみの分別品目・分別方法」を知っていますか。



※2009年5月実施の「家庭ごみ」アンケート結果と比較
 ※Base: 全体(各 N=436)

<ごみ収集曜日/頻度>

Q:あなたは、ご自分のお住まいの各家庭ごみ(燃やせるごみ、燃やせないごみなど)の収集曜日・頻度を知っていますか。



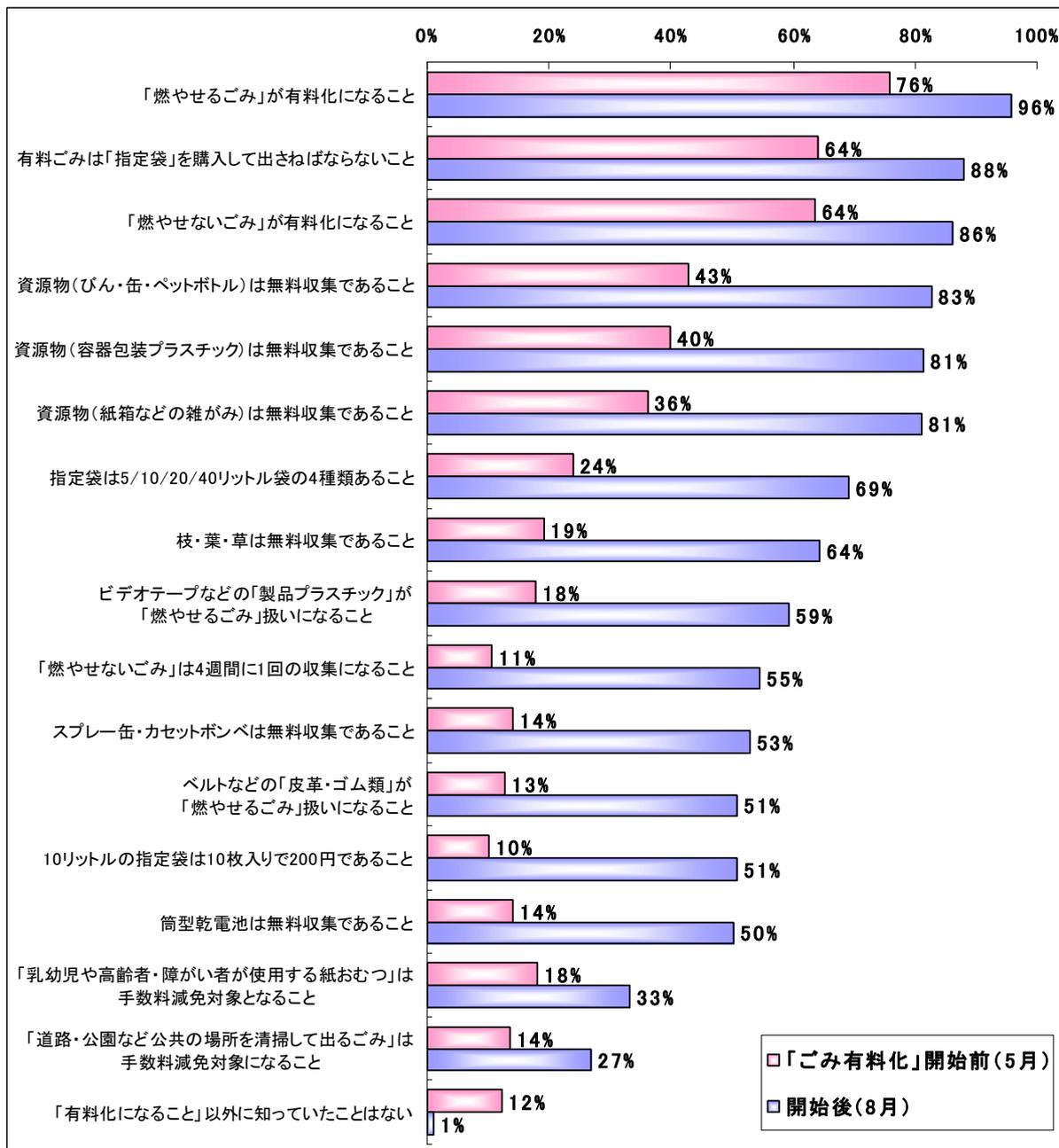
※2009年5月実施の「家庭ごみ」アンケート結果と比較
 ※Base: 全体(各 N=436)

- 「ごみの分別品目・分別方法」を理解している人の割合は、ごみ有料化開始前・後で大差はなく、いずれも9割近くが理解している。
- 「ごみ収集曜日・頻度」については、ごみ有料化開始前は6割近くが「詳しく知っている」と回答している一方、新ルールになったごみ有料化開始後では3割弱にとどまる。

【札幌市内の家庭ごみ有料化】について知っていたこと(「家庭ごみ有料化」開始前後比較)

Q:平成21年7月1日から始まる「札幌市の家庭ごみの有料化」について、あなたが知っていたことをすべてお選びください。(いくつでも)

Q:札幌市では、平成21年7月1日より、家庭から出るごみの回収が有料になりました。この制度に関してあなたが知っていたことをすべてお選びください。(いくつでも)



※2009年5月実施の「家庭ごみ」アンケート結果と比較

※Base:全体(各 N=436)

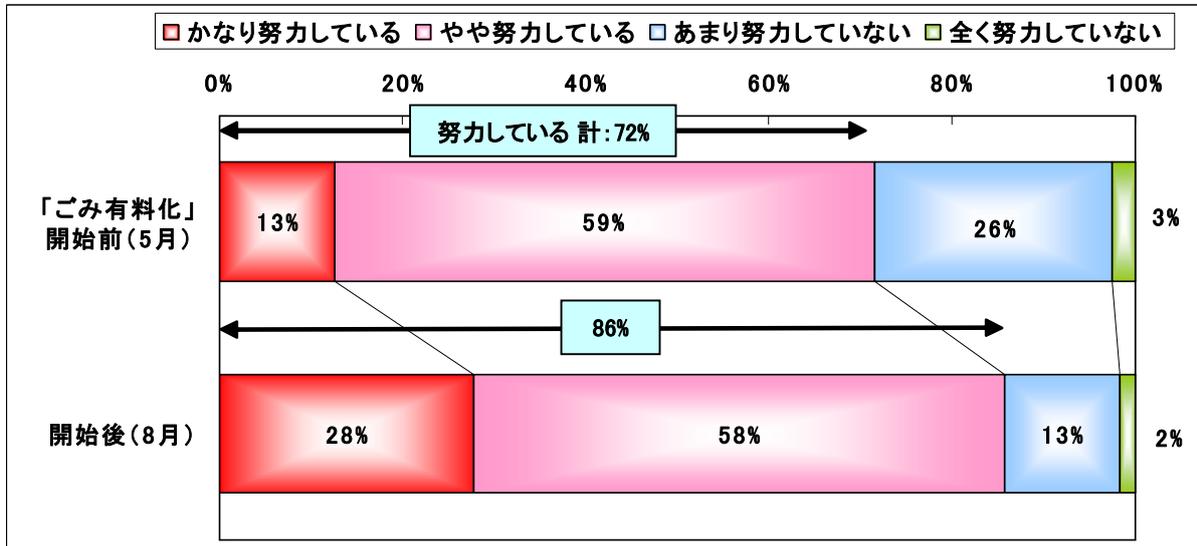
➤ごみ有料化に関する主な内容については、いずれの項目も開始前に比べ、開始後の認知率が大幅に上昇しており、大半の項目が半数以上に認知されている。

ただし、「乳幼児や高齢者・障がい者が使用する紙おむつが手数料減免対象となること」や、

「道路・公園など公共の場所を清掃して出るごみ手数料減免対象になること」についての認知率はいずれも3割前後にとどまる。

【ごみを減らす努力(「家庭ごみ有料化」開始前後比較)】

Q:あなたは、ごみを減らす努力をしていますか。

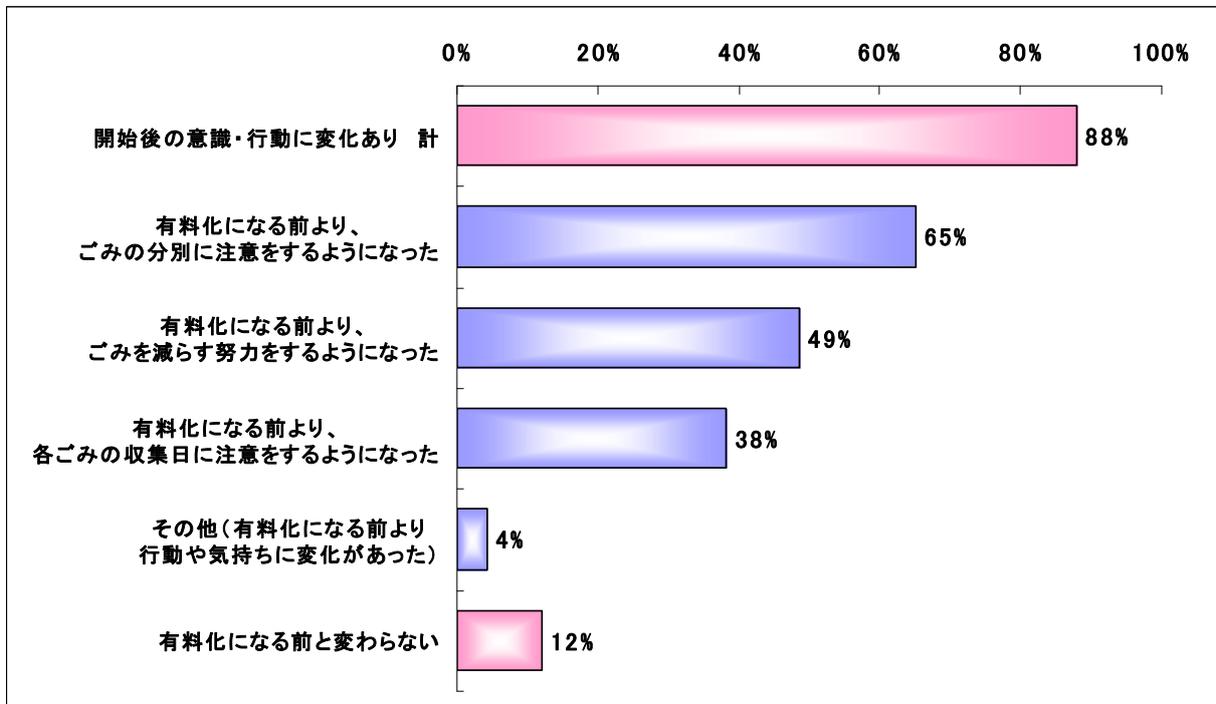


※2009年5月実施の「家庭ごみ」アンケート結果と比較
 ※Base: 全体(各 N=436)

➤「ごみ有料化」開始前に比べ、開始後はごみを減らす努力をしている人の割合が増えており、努力をしている人が全体の86%、うち、3割近く(28%)が「かなり」努力している。

【「家庭ごみ有料化」開始後の行動・意識変化】

Q: 家庭ごみの有料化が始まったことにより、あなたの行動やお気持ちに変化はありましたか。

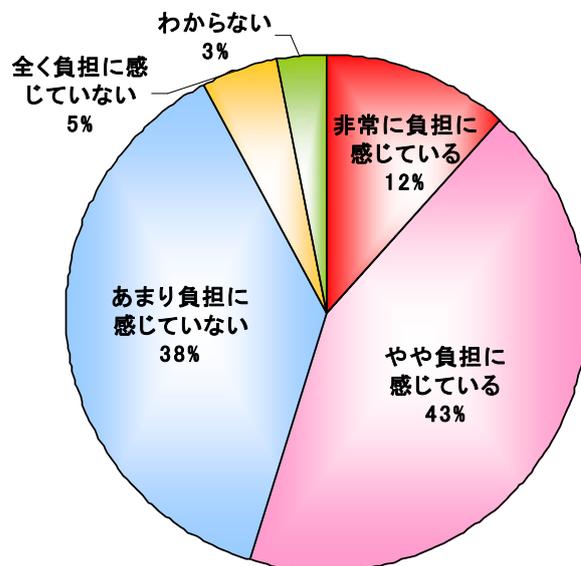


※Base: 全体(N=436)

➤ 全体の9割近く(88%)が「家庭ごみ有料化開始後」の意識・行動変化があり、具体的には、「ごみの分別に注意するようになった」が6割強(65%)と最も多く、次いで、「ごみを減らす努力をするようになった」が約半数(49%)、「各ごみの収集日に注意するようになった」が4割弱(38%)となっている。

【「家庭ごみ有料化」による家計への負担】

Q:「家庭ごみ有料化」は、あなたのお宅の家計にどのくらい負担を与えていますか。

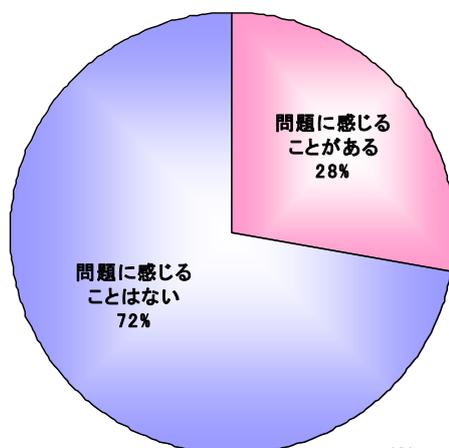


※Base: 全体(各 N=436)

➤ 全体の5割強(55%)が、「家庭ごみ有料化」による家計への負担を感じている。

【ゴミステーション利用状況の問題】

Q: あなたが利用するゴミステーションの利用状況全般について、あなたは問題に感じることはありますか。



※Base: 自分でごみを出しに行く人 (N=389)

利用しているゴミステーションの問題点

【主要意見】

- ・不法投棄が多くなった。わざわざ違う地区からゴミを捨てに来ている人が出てきた。
- ・ゴミの分別がよくわからない人がいるのか、その日の収集とは別のものを出す人がいる。当番制で管理しているが収集日に持っていかなかった。ゴミは当番の人が持ち帰りボランティア袋で出すことになっているが、そのやり方だとマナーを守らない人はいつまでたっても気がつかないのではと思うことがある。
- ・指定袋ではなく、店の黄色の袋に入れて出している人がいたり、汚れた紙を雑紙の中に入れてたり、分別をしていない人が何人かいる。自分達で掃除しないからなのか、ステーション内に投げ入れてゴミを散らかす人がいる。
- ・我が家のすぐ近くにゴミステーションがあり、夜中に出したと思われるゴミを早朝にカラスが散らかし、結局、一番近くに住んでいて、汚なさが目に余ると感じた私が他人のゴミを掃除していることが非常に不満です。
- ・不法投棄の人は論外だが、間違っ出している人には“違いますシール”だけでは理解しにくいと感じる。
- ・雑紙などの回収回数を増やしてほしい。
- ・カラス被害の散らかりについて掃除が必要。原因を作ったゴミ袋を出した人が不明、かつ掃除しているのは原因を作った人ではない。
- ・誰も監視している人がいないので、よその地域の人が車でゴミを捨てに来る事。
- ・ゴミ袋をちゃんと縛って出していない人がいるため、散らかっている時があります。カラスがゴミをあさって、更に散らかっている事もあります。
- ・ゴミ収集車の来る時間が遅くなり、カラス等の害が増える可能性が増大した。
- ・違反ごみがあっても、シールを貼るだけで放置状態。違反者が持ち帰るわけでも、市が後日対処するわけでもない。有料化後、市の対応がなくなっただけで、ずっと違反ごみが置きっぱなし。

➤ 自分でごみを出しに行く人の3割が、利用しているゴミステーションの利用状況に問題を感じており、具体的には、「他地域住民の不法投棄がある」、「所定の日時以外に出す人がいる」、「カラス被害」といった意見が目立つ。

※本ページに掲載されている調査結果は、出典先を「マーケティングリサーチシステム インサーチ」と明記の上、自由にご利用ください。

<その他のお問い合わせ先>

株式会社 インサイト インサーチ事務局

e-mail : info@insearch.jp